

7. 競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

練習は、メイン競技場、補助競技場、多目的広場および雨天練習場を原則とする。

① メイン競技場

- ・トラックのみ利用を認める。ただし、競技の準備を優先とする。
- ・利用時間は、開場から競技開始30分前までとする。
- ・ハードル等の道具を利用した練習はできない。

② 補助競技場

ア. レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ブロックを使用時のスタート練習は多目的広場側直走路7～10レーンのみとする。
- ・多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。
- ・第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子400mH、6レーンは男子400mHとする。

イ. 道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止。

ウ. 投てき競技（砲丸投のみ）の練習は、トラック外側の砲丸投ピットで行うことができる。その際、係員の指示によって行う。

③ 多目的広場

ア. 投てき競技（やり投のみ）練習ができる。

イ. 道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止。

ウ. 多目的広場入口付近においてメディシングボールの使用はできるが、安全に注意すること。

④ 雨天練習場

- ・雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ・雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ・ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程

度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。

- ・ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ・ハードルは使用できない。

⑤ 棒高跳について

競技開始70分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がないように、審判員の指示に従うこと。

⑥ 投てき練習について

次の種目において、円盤投は2日目9時から、ハンマー投は1日目11時から、メイン競技場において練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がないように、審判員の指示に従うこと。

投てき練習は、該当種目の招集完了時刻以降の練習はできません。

3. 招集について

- (1) 選手招集所は、第2ゲート付近に設ける。
- (2) 招集時刻は、競技日程に記載の招集完了時刻を確認すること
 - * 棒高跳、円盤投、ハンマー投は現地で招集を行う
- (3) 招集完了時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- (4) リレー種目に出場するチームは、招集完了時刻の1時間前までに競技者招集所に用意しているオーダー用紙にメンバーを記入し、競技者係に提出する。
- (5) 2種目以上を同時に兼ねて出場する選手は、競技開始前に2種目同時出場届を提出する。
- (6) 予選において棄権者が多く8名以下になった場合、予選を取りやめ決勝の時刻に行う。
- (7) 学連登録時の氏名と番号がプログラム上のそれと異なり、主催者側に過失が認められない場合は、競技に出場できないことがある。

4. 棄権について

- (1) 大会の権威と運営の円滑を期するために、棄権は極力避ける。
- (2) 棄権する場合は、棄権届2枚（招集所に用意してある）に該当校の監督のサイン・捺印し、招集完了時刻までに競技者係に提出する。
- (3) TR4.4.2の参加の拒否については、対校戦のため適用しない。

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは学連登録用を使用し、配布された大きさのままユニフォームに固定する。ただし、跳躍種目に出場する選手は胸または背のいずれかに付けるだけでよい。

- (2)トラック競技に出場する選手は、腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの左右横やや後方に取り付け、競技終了後フィニッシュライン付近で係員に返却する。
- (3)3000mSC, 5000mにおいては、別ナンバーカードを使用する。
※別ナンバーカードは、招集所にて配布する。

6. 競技場の入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳、投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳・三段跳

- ①第1コーナー付近からスタートする種目および1500m以外のトラック種目の選手は、荷物を取りにいく際、メインスタンド下通路を通り、第4ゲート後方の出入口より移動すること。
- ②走幅跳・三段跳に参加する選手以外は、メインスタンドロビーから競技場内への進入はしない。
※係員から指示がある場合は、指示に従うこと。

7. 競技の抽選ならびに番組編成について（走路順・試技順）

- (1)トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の数字のとおりとする。
- (2)トラック競技の決勝の組み合わせは、主催者が競技規則に従って決定し、掲示板に掲示する。トラック競技の次ラウンド進出は着順優先とし、各組上位者のみとする。プラス進出者の決定で同記録者が出た場合は、判定写真を拡大し細部（電気時計 1/1000）まで読み取り着差判定をする。その最下位で同記録者が出た場合、ハードルを含む800mまでは、レーンに余裕がある限り次のラウンドへ進むことができる。レーンに余裕がない場合は抽選して決定する。

8. 競技について

- (1)その競技に出場している競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (2)短距離走では、競技者の安全のためにフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられた走路（曲走路）を走る。
- (3)不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (4)5000mでは、給水所を設ける。
- (5)4×100mリレーのマーカ―は主催者が用意したものを出発係より受け取り、1カ所のみ使用することができる。使用したマーカ―はそのチームで処理すること。
- (7)4×400mリレーに出場するチームの第2～第4走者は、胸に別ナンバーカードを使用する。また第2・第3走者は通過順位確認のため、パンツの左横やや後方につけること。別ナンバーカ

ードは招集所で配布する。

- (8) 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置をあらかじめ現地の当該競技役員に申し出る。
- (9) 跳躍競技における競技場内での練習は2回とし、競技役員の指示に従う。ただし、投てき競技における競技場内での練習はすべて競技役員の指示に従う。
- (10) 抗議は競技規則に従って、定められた時間内に各校監督などが口頭で審判長に行う。なお、その裁定に不服の場合は預託金（1万円）を添え、総務を通じて上訴審判員に文書で申し出る。なお、この裁定は最終の決定とする。
- (11) 三段跳の踏切板の距離は砂場から男子が11m、女子が9mとする。

9. バーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、天候等により変更する場合がある）

種目		練習	1	2	3	4	以後
走高跳	男子	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	+3cm
	女子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	+3cm
棒高跳	男子	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	+10cm

- (2) 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

10. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポールおよびやり投のやり以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。棒高跳用ポールの検査は、その競技開始前に跳躍場において競技役員が行い、やりの検定は、競技開始60分前に第1ゲート倉庫付近で行う。
- (2) 練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。

11. 競技用靴について

- (1) スパイクの長さ9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とし、スパイクの直径は最大部分が4mm以内でなければならない。

12. 表彰について

- (1) 各種目1～3位の入賞者に対して表彰式で表彰する。競技終了後、競技役員によってメインエントランスに誘導される（競技等の都合で本人が出られない場合は代理人を必ず出すこと）。
- (2) 受賞競技者は、原則として各校のチームジャージやチームシャツを着用すること。
- (3) 各種目の得点は1位8点、2位7点、以下6点、5点、4点、3点、2点、1点とする。同順位が複数（n）生じた場合は順位点の合計をnで除した得点とする。

- (4) 学校対校得点で男女とも総合1位の学校に優勝杯を、3位までの学校に賞状を授与する。また、トラック、フィールド部門で男女とも得点3位までの学校に賞状を授与する。

13. 閉会式について

- (1) 閉会式は、6月30日(日)全競技終了後本競技場で行う。

14. 一般注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、大会本部に連絡すること。
- (2) 競技場での疾病・傷害などの応急処置は主催者側が行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 届けられた遺失物は大会本部で保管する。
- (4) 応援旗・部旗・横断幕・のぼり等はバックスタンドの中段および上段の手すりのみに掲げることができる。いずれの場合も、個人名を記した旗・横断幕・のぼり等を使用してはならない。
- (5) 「ゴミ」は、各大学で責任をもって集め、原則として各大学で持ち帰り、処分すること。
- (6) 集団応援はバックスタンドおよびサイドスタンドとし、メインスタンドでは禁止する。ただし、フィールド種目競技中の間は、連呼応援を止めるなど、フィールド競技の進行に配慮すること。
- (7) 記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸上競技 HP から確認できる。
- (8) 競技場開場および閉場時刻

	陸上競技場	補助競技場	多目的広場
6月29日(土)	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00
6月30日(日)	7:30~17:00	7:30~17:00	—